

創立70周年の年スタート



平成7年4月6日
編集人兼発行人
秋田県能代市高橋2番1号
秋田県立能代高等学校新聞部
印刷所 樹大書堂印刷

九月に記念式典

本校にとって記念すべき七十周年の年度がスタートした。今年本校の目標である至誠力行、文武両道がいっそう強く意識されなければならないといえよう。

学習面のレベルアップ、進歩目標の達成、部活動においては、それぞれの部が各種大会で能代高校の健在をアピールできる良い機会であるといえる。

七十周年という一つの節目は、改めて本校の過去と現在、そして未来へとつくり目を向けるべき機会といえる。同時に生徒一人ひとりがあらゆる場面で活躍し、新たな自己発見を進めることで大きく飛躍できるチャンスでもある。

七十年の看板できる

七十年を町の人々にも知ってもらうための看板が国道沿いの本校入口にできた。水色を基調に、赤で七十年のスローガン、七十年の時を越え、吹き起こせ新たな試合の風、記念式典や招待試合については、白地に馬国道を通る人に能代高校の七十年を鮮やかにアピールしている。



国道7号線沿いにできた70周年の看板

全校生の協力を

生徒会長
時田 修

晴れて秋田県立能代高等学校へ入学することになったみなさん、本当におめでとうございませう。私達は、みなさんが入学してくるのを首を長くして待っていました。



能代高校は、自分が考えている進路に向かって、真つすぐ突き進むのに最適な高校だと言えよう。しかし、自分の目標、つまり志望校に合格するためには、当然努力が必要で、この高校に入学したことで安心していてもいられない。実際には、自分の人生に大きく影響を与える高校生活はこれから始まるのです。この三年間で自分の将来がどう変わるかは、みなさん一人ひとりの気持ち次第であるということを自覚してほしいと思います。

きょう入学式

二九三名を迎える

きょう一時から、平成六年度の入学式が行われる。今年の新入生は新制第三十期生に当たる。三月十三名のうち、男子が百七十七名、女子が百十六名となっている。今日は船木原屋さんが新入生代表として誓いを立てる。

入学式には二・三年生は参加せず、新入生と二・三年生が初めて顔を合わせるのは七日の対面式である。また七日からは課題テストが始まる。新入生は二十二日の説明会で、小論文の課題校へのアプローチャを渡され、この課題テストを機に、いよいよ能高生活が幕を開けることになる。

学習に気合い

八森中出身
鈴木慎一郎



この学校に入学することができ、とても嬉しく思っています。僕は、この能代高校で特に学習面に力を入れていきたい。高校では勉強のレベルがぐんと上がり、難しくなるので、学校や家庭での学習を工夫し、どの教科も納得のいくものにしたい。

高校生活への決意

— 新入生のこぼし —

293名の新入生は、能高生活の初めにあってどんな希望を描いているのか——4人の新入生に聞いてみた。がんばれ！新入生。



僕は嫌なことになることを諦めるのが早いので、何事にも粘り強く取り組み、三年間の高校生活が有意義なものになるように頑張ります。



私は高校生になったら、必ず実行してみようと思っていることが三つあります。まず一つ目は、高校生活で友達をたくさん作るということです。友達関係を大切に、誰

校内ピカピカに

改装工事ほぼ終了

本校七十周年に伴い、学習センター建設の代替事業として一月中旬から始まった校舎の改装工事が春休みに中絶急ぎで進められた。教室や廊下の改修、掲示物のクロスのはり、特別教室等の扉やドアの塗装、掲示物のクロスのはり、床のタイの補修などが行われ、清潔感あふれるピカピカの校舎に生まれかわった。

軟式 早稲田で合宿

庭球部 早稲田で合宿

昨年十数年ぶりに、どの部もインターハイに参加できなかったという本校の運動部は秋の新人戦での優勝ラッシュに満足することなく、各々が日々の練習に励んでいる。軟式庭球部は強化のために三月二十七日から四月一日までの六日間早稲田大学の軟式庭球コートで借りて合宿を行った。

能高見聞録

高橋の一年

毎回好評、能高見聞録。今回はこの高橋の一年をご紹介いたします。好奇心旺盛な一年生諸君のために、まず、校庭でアツアツと目を奪われた写真があるはず、ご存じ「自在の像」。はるか東方を指し、未来へ向かう若者を象徴しています。そんな自在の像も能高祭の時だけは紳士的に素直なふんぞりをつけて大勢の人たちを迎えます。製作者は、美術担当の戸松先生。



習面に留意して、がんばっていきたく思っています。また、これから高校生活を送るにあたって、多種多様な出来事に遭遇するでしょう。そんな時、苦楽を共に分かちあえる友人とめぐりあいた。高校というものは、自分の進路への第一歩です。能代高校生としての自覚と、自分の進歩を自分で決める力を持つ人が、一番の宝ではないでしょうか。

苦楽を分かちあえ

峰浜中出身
鈴木結里加

この能代高校で、私は学

重要さを教えていただいた。

これからはチーム全体がひとつにまとまってインターハイ、団体戦出場へ向けて、一つ一つをしっかりとやっていきたい。春休み中は同部のほか、バスケ部、剣道部、柔道部、山岳部も合宿を行った。

次に行事の紹介。五月末には能高祭があります。各HRのHRデコに始まり、文化部長、そして中夜祭のど自慢や後祭のフォークダンスなど盛りだくさん。フォークダンスでは、能高生技を忘れて踊り狂います。見事の一役を尽きます。